

2020年度 委員会・地区支部 活動報告書

委員会・地区支部（串木野・日置地区支部） 委員長・地区支部長（迫田 修幸）

活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら地区支部総会・地区支部研修を開催し、地区支部会員の社会福祉士としての資質の向上や会活動に対する理解・意識の向上が図られるように努める。 また地区支部会員のみを対象とした活動だけではなく地域貢献活動（福祉従事者を対象とした研修会の開催、無料相談会の開催等）にも取り組み、福祉従事者や地域住民等への支援や社会福祉士の認知度の向上が図られるよう努める。 ・鹿児島県社会福祉士会（以下、「会」）に入会していない社会福祉士への入会を呼びかけ会員増加を図ることで地区支部活動の活性化や会の組織強化につなげられるよう努める。 ・いちき串木野市・日置市の各協議会・委員会等への委員の推薦依頼があった場合は積極的に対応し、社会福祉士として行政や関係機関へ協力するよう努める。
具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区支部総会を年1回、地区支部研修を年3回、それぞれ開催することを計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状態が続いたことから今年度はやむを得ず全ての活動を中止した（地区支部総会は書面による開催を検討したが諸般の事情により開催できなかった）。 役員会は電話やLINEを活用し、委員長・地区支部長会議の報告や県事務局への提出書類の確認、地区支部選出理事との意見交換等を随時行なった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大がいまだに収まらない状態が続いていることを考えると従来のような集合形式での研修会等の開催は困難であると思われる。 だが地区支部会員の資質向上や地区支部会員間のネットワーク形成・拡大を図ること、入会していない社会福祉士の入会促進に努めることが必要であることに変わりはない。 そのため、コロナ禍での地区支部活動に関する地区支部会員への意向調査の実施やオンライン研修の開催等について検討する必要があると考えている。
委員会・研修会等開催状況	主な内容